



KODANSHA

「おもしろくて、ためになる」を世界へ
Inspire Impossible Stories

2023年12月14日
株式会社講談社

小砂川チト「猿の戴冠式」が第170回芥川賞 加藤シゲアキ『なれのはて』が第170回直木賞 最終候補作にノミネート

平素より弊社の出版活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本日、公益財団法人日本文学振興会より、第170回芥川龍之介賞、直木三十五賞の候補作が発表され、講談社から2作品がノミネートされました。最終選考会は2024年1月17日に行われ、受賞作が決定いたします。



【第170回芥川龍之介賞ノミネート】

小砂川チト「猿の戴冠式」（『群像』2023年12月号掲載／2024年1月17日刊行予定）

<著者プロフィール>

小砂川チト（こさがわ・ちと）

1990年岩手県盛岡市生まれ。慶応義塾大学文学部卒業、同大学院社会学研究科心理学専攻修了。2022年、「家庭用安心坑夫」で第65回群像新人文学賞を受賞、同作が第167回芥川賞候補作となる。著書として『家庭用安心坑夫』（講談社）がある。





KODANSHA

「おもしろくて、ためになる」を世界へ
Inspire Impossible Stories

【第 170 回直木三十五賞ノミネート】

加藤シゲアキ『なれのはて』（2023 年 10 月 25 日講談社刊）

< 著者プロフィール >

加藤シゲアキ（かとう・しげあき）

1987 年生まれ。大阪府出身。青山学院大学法学部卒業。2012 年 1 月『ピンクとグレー』で作家デビュー。2021 年『オルタネート』で第 42 回吉川英治文学新人賞、第 8 回高校生直木賞を受賞。「NEWS」のメンバーとして活躍しながら作家としても精力的な活動を続けており、評価を高めている。他の著書に『閃光スクランブル』『Burn. -バーン-』『傘をもたない蟻たちは』『チュベローズで待ってる AGE22・AGE32』（全 2 冊）、エッセイ集などに『できることならステイードで』『1 と 0 と加藤シゲアキ』がある。

< 公式サイト / 公式 X >

「なれのはて」公式 HP <http://narenohate.kodansha.co.jp>

「なれのはて」公式 X アカウント @narenohate_kds

